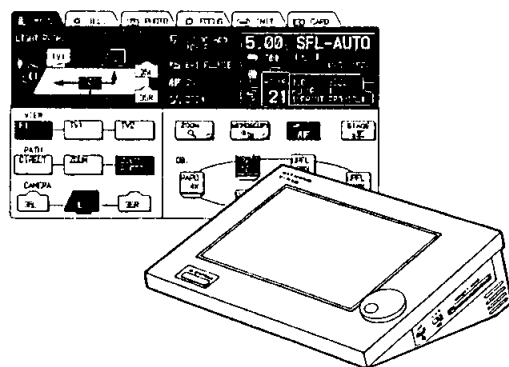


OLYMPUS®



取扱説明書

U-MCB

マルチコントロールボックス

お願い

このたびは、当社マルチコントロールボックスをご採用いただき、ありがとうございました。

このマルチコントロールボックスU-MCBでコントロールされる顕微鏡システムや各種モジュールとの組合せで多彩な手元操作ができます。

ご使用前に本装置の性能を十分に発揮させるため、必ず取扱説明書をお読みください。



A X 5 9 1 3

マルチコントロールボックス (U-MCB) のCARD操作画面でDATA LOG (撮影結果記憶) スイッチを押した時に、でてくる画面 (下記図2) に間違いがありましたので、訂正させていただきます。

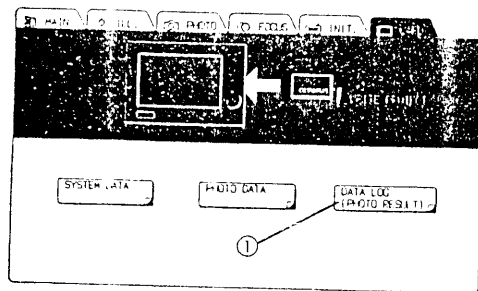


図 1

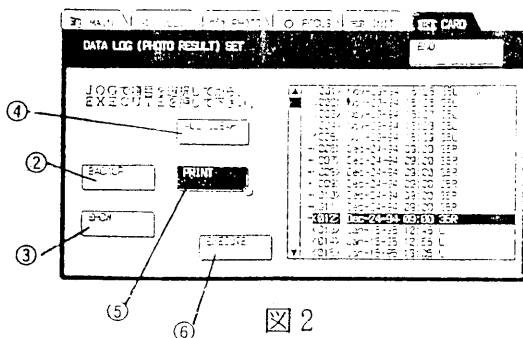


図 2

データのバックアップ

- 1) **DATA LOG** ①を押す (図1) と図2の画面となります。
- 2) **BACKUP** ②を押すと蓄積されたDATA LOG (撮影結果) のすべてをメモ리카ードにバックアップします。
- 3) 確認画面が出てきますので、バックアップOKなら **ENTER** を押します。

注意 メモ리카ードに上書きされますのでメモ리카ード内の元のデータは消えてしまいます。

- 4) 終了したら **END** を押します。

確認

- 1) **DATA LOG** ①を押す (図1) と図2の画面となります。
- 2) JOGダイヤルで確認したい (表示したい) DATA LOG NO. に合わせます。
- 3) **SHOW** ③を押すとDATA LOG NO. の画面が、カーソル位置の詳細表示を行います。また、この時JOGダイヤルを回すと詳細表示はスクロール可能です。
- 4) **SHOW** ③を押すと前画面に戻ります。
- 5) **END** ⑤を押すと元の画面に戻ります。

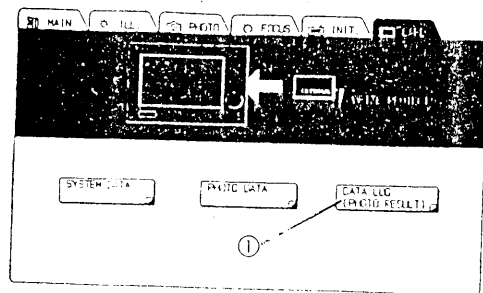


図 1

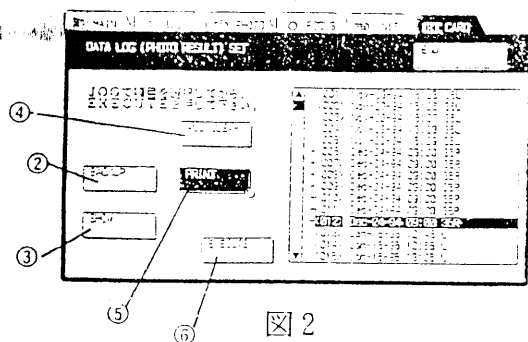


図 2

データ消去

- 1) **DATA LOG** ①を押す(図 1)と図 2 の画面となります。
- 2) **ALL CLEAR** ④を押すとメモ리카ードに記憶しているDATA LOG(撮影結果)をすべて消去します。
- 3) 確認画面がでてきますので、消去OKなら **ENTER** を押します。
- 4) 終了したら **END** を押します。

プリント

★ **PRINT** ⑤はプリンタI/F ボードが取付いていないと表示されません。(図 2)

- 1) **DATA LOG** ①を押す(図 1)と図 2 の画面となります。
- 2) JOGダイヤルで、プリントする範囲の先頭位置に合わせます。
- 3) **PRINT** ⑤を押すと先頭が決定し、項目No.の左側に→が表示されます。
- 4) 更にJOGダイヤルで、最終項目を指定します。
- 5) 範囲の設定が終了したら **EXECUTE** ⑥を押します。(図 2) 確認画面がでてきますので、OKなら **ENTER** を押します。
- 6) **ENTER** でプリントが行われ、前画面に戻ります。

はじめに

このマルチコントロールボックスは最高級システム研究顕微鏡AX70と組合わせて、多彩な観察方法、対物レンズの切換えやオートフォーカスなどの各種コントロールを手元操作できます。

なお、この取扱説明書ではマルチコントロールボックスの基本操作及びINIT., MAIN, ILL., CARDモードについてご説明いたします。

その他の各モジュールと組合わせてのPHOTO, FOCUSモードのコントロールについては、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

1 ご使用に当たって

- ① 顕微鏡と同様にこの装置も精密機器ですので、衝撃を与えないよう、ていねいに取扱ってください。
- ② 使用環境は室温0～40℃、湿度30～85%(結露が無いこと)をお守りください。
- ③ 各種接続ケーブルは確実に接続し、着脱時はメインスイッチをOFFにしてから行ってください。(ICが破壊する。)
- ④ コード類は、曲げ、ねじれに弱いので無理な力をかけないように注意してください。
- ⑤ 警告音(ブザー)発生時やスイッチ入力を受付けない場合は操作方法に誤りがあると思われますので、再度確認の上入力してください。

特に複雑な操作については誤操作時にメッセージが表示されます。

2 手入れ、保存について

★エーテル、アルコールなどは引火性が強いので、取扱いや火気、メインスイッチのON-OFFなどには十分注意してください。

- ① 各部の清掃は有機溶剤をさけ、特にプラスチック部は希釈した中性洗剤をわずかに布に含ませて拭いてください。
- ② 各部はみだりに分解しないでください。

注 意 6年以上連続して使用しない場合は、データが消えることがありますので、メモリーカードに保存してください。電池交換はオリンパス販売店へご依頼ください。

マルチコントロールボックス(U-MCB)は出荷時メッセージのディスプレイ表示が英文表示となっております。和文表示に変更する場合は11頁をご参照ください。

3 安全性に関するシンボルマーク

マルチコントロールボックスには以下のシンボルマークが付いています。

マークの意味をご理解いただき、安全な取扱いを行ってください。

マ ー ク	意 味
	使用する前に必ず取扱説明書をお読みください。
	サブメインスイッチのスタンバイ・リモートON/OFF機能を示します。

4 注 意

この装置を取扱説明書に記載されている以外の方法で使用されますと安全が保証できず、更に故障のおそれがあります。この取扱説明書に従ってご使用ください。

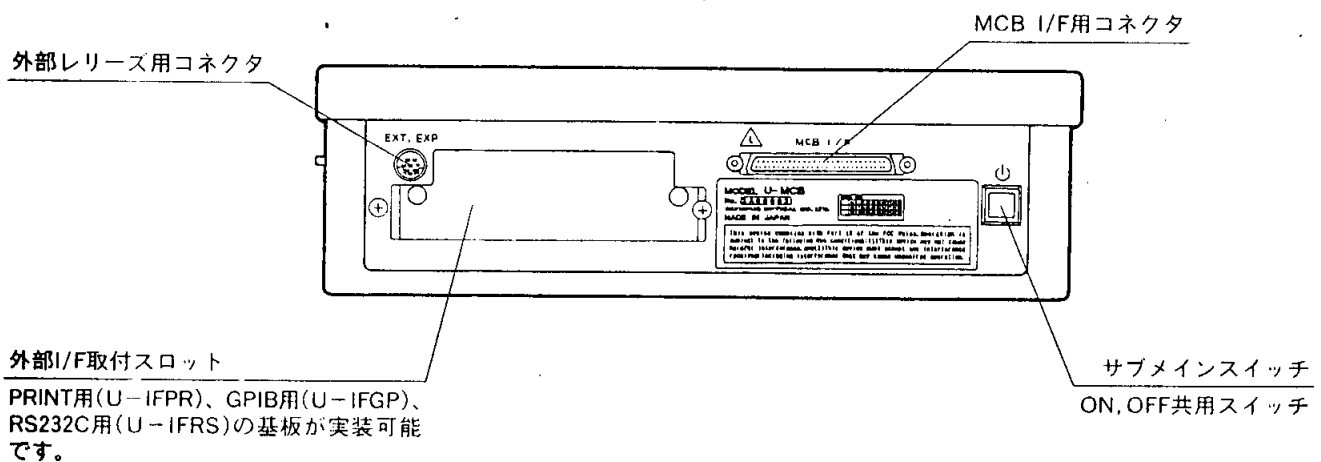
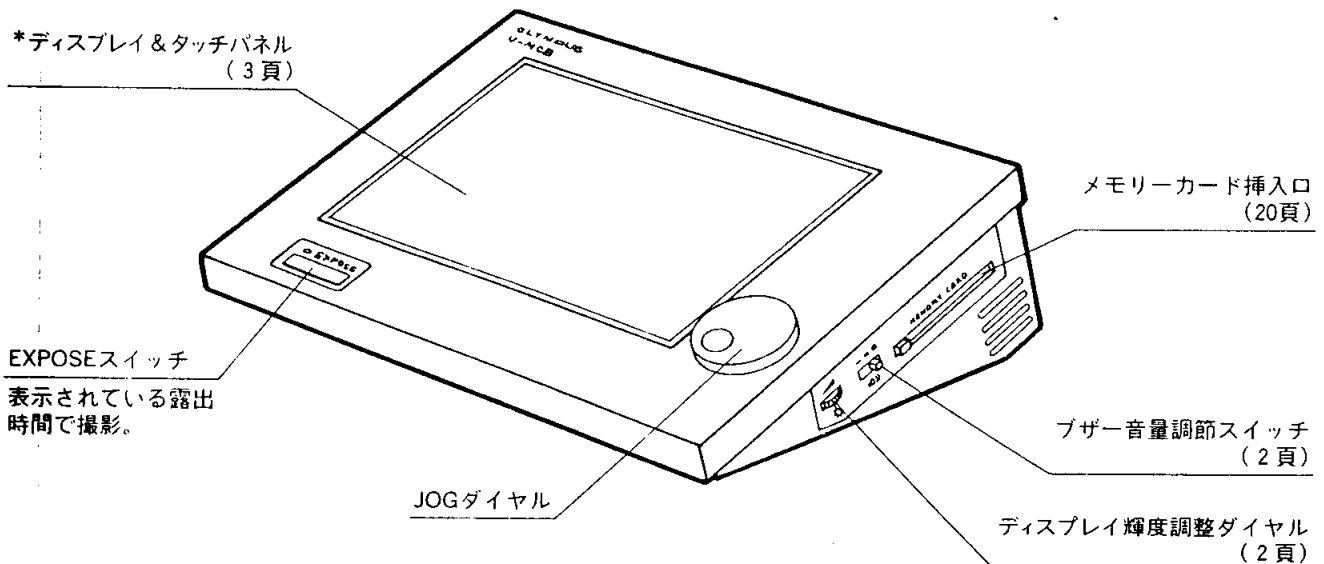
目次

	頁	
1 マルチコントロールボックス各操作部の名称	1	1
2 組立て方	2	2
3 使い方	3	3
3-1 タッチパネルの基本操作	3	
3-2 環境データ(INIT.)の設定	5	
1 キューブデータの設定(CUBE) ... 5		
メモリー呼出し・登録・確認		
オプションキューブの名称登録		
2 対物データの設定(OB.) ... 8		
3 コンデンサデータの設定(UCD) ... 9		
4 落射フィルタデータの設定(EPI-FC) ... 10		
オプションフィルタの名称登録		
5 透過フィルタデータの設定(DIA-FC) ... 11		
6 オプションデータの設定(OPTION DATA) ... 11		
メッセージ表示言語切換え		
ステージ/レボ自動退避動作設定		
フィルタ自動挿入組合せ設定		
ハンドスイッチ(U-HSTR)の透過検鏡法設定		
照明系補正係数の初期値復帰の指定		
メイン操作画面JOG割り当て設定		
日付・時間の調整		
3-3 基本(MAIN)操作画面と設定	15	
1 検鏡法設定(MICROSCOPY) ... 15		
2 ズーム変倍設定(ZOOM) ... 15		
3-4 照明系(ILL.)操作画面	16	
1 ランプ電圧プリセット ... 17		
3-5 メモリーカード(CARD)の設定	17	
1 メモリー項目の選択 ... 17		
2 メモリーカードについて ... 20		
3 メモリーデータ自動呼出しについて ... 20		
4 メモリー操作 ... 21		
登録		
呼出し		
確認		
プリント		
消去		
プリンタ出力		
4 外部通信機能	24	4

1 マルチコントロールボックス各操作部の名称

1

マルチコントロールボックス
操作部の名称



接続ケーブル



*タッチパネルスイッチの操作は、3頁「3 使い方」の項目で説明いたします。

2 組立て方

2

組立て方

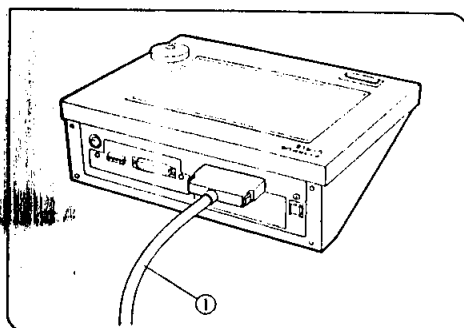


図 1

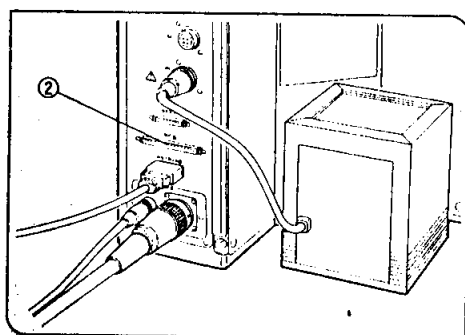


図 2

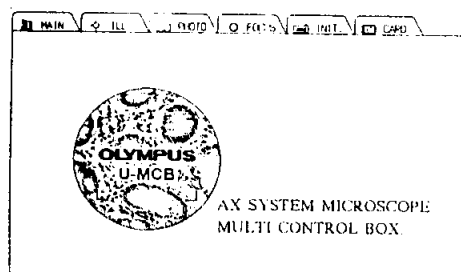


図 3

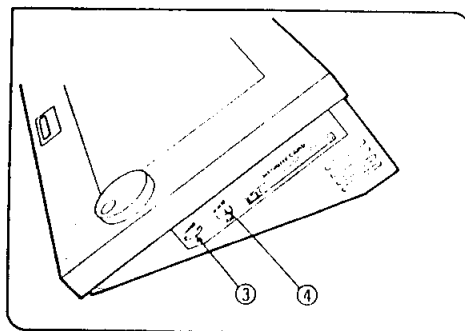


図 4

1 ケーブルの接続

(図1, 2)

★AX用電源装置(U-PS)のメインスイッチは必ずOFFにしておきます。

- 1) 付属の接続ケーブル①をマルチコントロールボックス(U-MCB)後面MCB I/F用のコネクタへ方向を合わせて確実に差込みます。

(図1)

- 2) もう一方をAX70右後面のMCBコネクタ②に同様に確実に差込みます。(図2)

2 ディスプレイの輝度・音量調整

(図3, 4)

- 1) AX用電源装置(U-PS)のメインスイッチ及びU-MCBのサブメインスイッチまたはAX70鏡体のサブメインスイッチをONにします。
- 2) U-MCBのディスプレイに図3のような画面が表示されシステム(電動駆動部位)の初期化を行います。
初期化が終了すると、MAIN操作画面が表示されます。

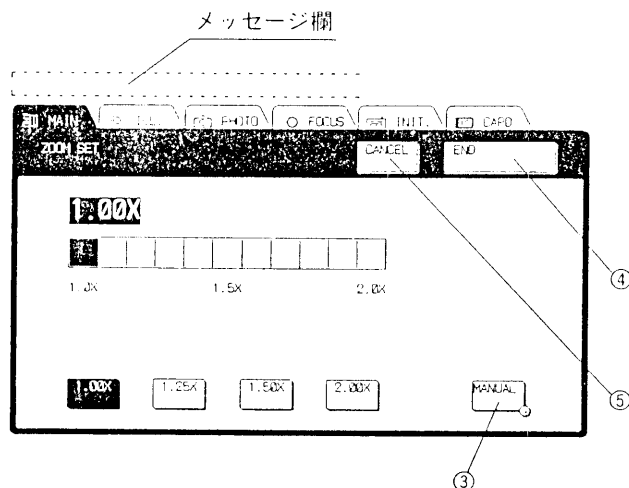
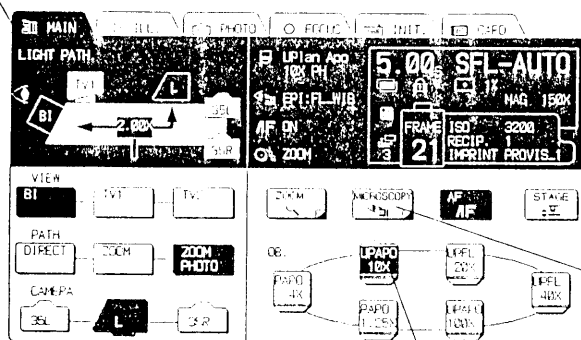
- 3) U-MCB右側面の輝度調整ダイヤル③及び音量調整ダイヤル④で調整できます。(図4)

- ・輝度 ……連続可変
- ・音量 ……OFF → 小 → 大の2段階

3 使い方

3-1 タッチパネルの基本操作

モード切換スイッチ(MAIN, ILL., PHOTO, FOCUS, INIT., CARD)



◎タッチパネルは、その表示を指先で押すことで、必要な設定や動作を実行させます。

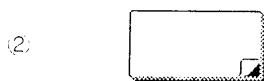
モード切換スイッチで、6種のコントロール画面に切換えられます。

注意 指以外での操作は、故障の原因となりますので行わないでください。

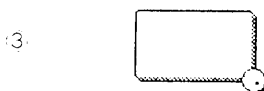
表示の基本的考え方



① 設定されると反転表示になります。
関連する動作がある場合は、その動作が行われます。



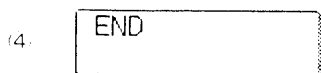
② 右下のマークは、次の画面があることを意味します。



③ 右下のマークは、その項目がJOGダイヤルを回して操作することを表しています。

また、明らかに操作が一つしかないものは表示はありません。

(例) **EXP. ADJ.** CUBE*MEMORY SET



④ 必要な設定や動作が終了した所で、このスイッチを押すと、前画面にもどります。



⑤ 設定画面や確認画面で間違いがあった場合、元の設定・確認画面へもどる時に押します。

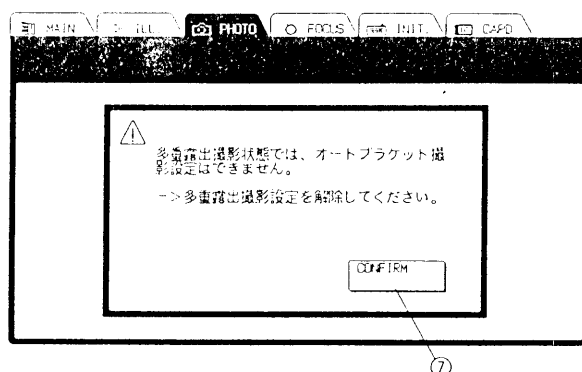
⑥

ENTER

…… 内容がOKの場合は、このスイッチを押すと必要な操作が実行され、前画面にもどります。



確認画面



警告画面

⑦

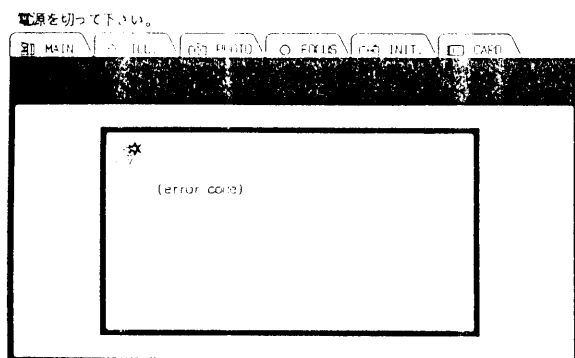
CONFIRM

…… 誤った操作が行われると、警告画面が表示されます。内容を確認して、このスイッチを押すと前画面にもどります。

⑧

表示なし

…… 関連モジュールが取付いていない部分の操作表示は、表示されません。但し、データ設定については除く。
また、ソフトウェア処理上、表示しているものについては、メッセージでお知らせします。



エラー画面

…… 操作中にシステム内で重要な障害(エラー)が発生した場合は、このエラー画面が表示されます。
修理が必要となりますので、ただちにオリンパス販売店へご連絡ください。

3

使い方

3-2 環境データ (INIT.) の設定

3

使い方

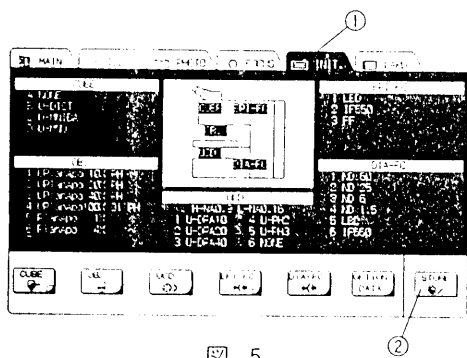


図 5

・モード切換スイッチのINIT. ①を押して、環境データ設定画面にします。(図5)

◎設定画面は、関連モジュールが取付いてなくても設定可能です。

★環境データ設定中は、ハンススイッチ(U-HS, U-HSTR)やAX70鏡基の専用操作部位(ランプON/OFFスイッチなど)が使用できません。

注意 STORE(記憶)スイッチ②は、INIT. データすべて設定終了後には必ず押してください。(図5)

このスイッチを押さずにモード切換スイッチで他の画面(MAINやPHOTOなど)に変更すると、今までの設定は無効となります。

但し、時計の設定のみ、この操作は不要です。

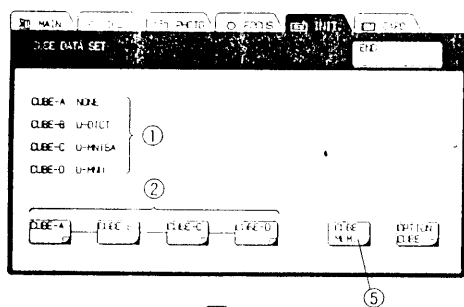


図 6

1 キューブデータの設定(CUBE) (図6, 7)

- 1) INIT. 設定画面の [CUBE] スイッチ(以後スイッチは略します。)を押すと、図6のキューブデータ設定画面となります。
データ①が現状の設定値を表示しています。
- 2) 設定するキューブ記号②を押すと、図7の画面となり指定されたキューブ記号のキューブが光路に挿入されます。
- 3) 光路に挿入されたキューブ名③をJOGダイヤルを回して選択します。

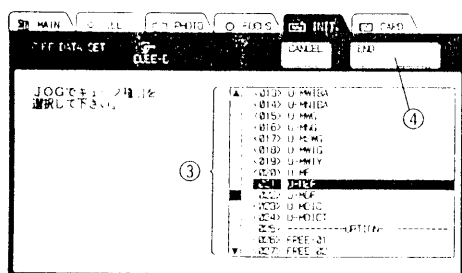


図 7

- 4) [END] ④を押すと、1つ目のキューブ名が設定され前画面にもどります。
- 5) つづけて、必要キューブを設定します。

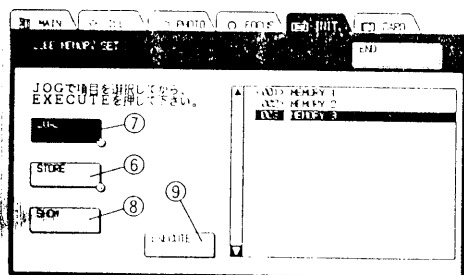


図 8

メモリー呼出し・登録・確認

(図 8)

◎現在の設定値を1セット(キューブ4ヶ分)のデータとして、呼出し・登録・確認する時に使用します。

《登録》

- 1) **CUBE MEM.** ⑤(5頁図6)を押すと、図8の画面となります。
- 2) **STORE** ⑥を押し、JOGダイヤルで登録したいメモリーNo.を選択します。
- 3) **EXECUTE** ⑨を押すと、確認画面がでますのでOKの場合は **ENTER** を、間違った場合は **CANCEL** を押します。
- 4) **END** を押すと、登録され、前画面にもどります。

《呼出し》

- 1) **CUBE MEM.** ⑤(5頁図6)を押すと、図8の画面となります。
- 2) **LOAD** ⑦を押し、JOGダイヤルで呼出ししたいメモリーNo.を選択します。
- 3) **EXECUTE** ⑨を押すと、カーソル位置のデータが呼出されます。
- 4) **END** を押すと、前画面にもどります。

《確認》

- 1) **CUBE MEM.** ⑤(5頁図6)を押すと、図8の画面となります。
- 2) JOGダイヤルで確認したい(表示したい)メモリーNo.に合わせます。
- 3) **SHOW** ⑧を押すと、現在選択されているメモリー詳細内容を表示します。
- 4) もう一度 **SHOW** を押すと、前のメモリーNo.表示画面にもどります。
- 5) **END** を押すと、元の画面にもどります。

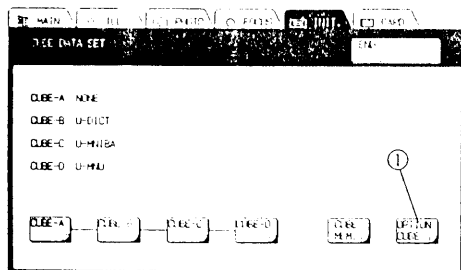


図 9

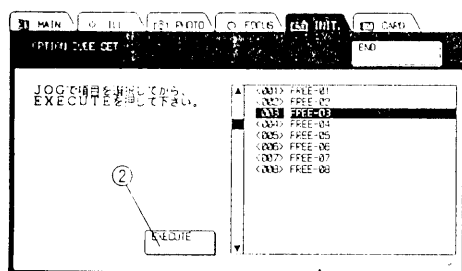


図 10

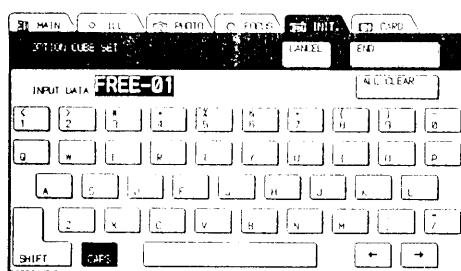


図 11

オプションキューブの名称登録

(図9, 10, 11)

◎ユーザーが任意のキューブ名称をシステムデータの一つとして登録する画面です。

- 1) **OPTION CUBE** ①(図9)を押すと、図10の画面となります。
- 2) JOGダイヤルで登録する位置を選択します。
- 3) **EXECUTE** ②を押すと、図11のキーボード画面となります。
- 4) 任意名称を1文字ずつ押して入力していきます。入力可能文字数は最大7文字です。

★すべて、空白(スペース)の設定はできません。

キーの説明

- ・ **CAPS** ……アルファベットの大文字/小文字切換え(連続)
反転(点灯) : 大文字
そのまま(消灯): 小文字
- ・ **←** **→** ……カーソル移動キー(JOGダイヤルでもカーソル移動可能)
- ・ **SHIFT** ……アルファベットの大/小文字切換え(単発)と数字キー上側の記号設定
SHIFT を押すと、反転表示し、1文字押すと元にもどります。

- 5) 名称が入力できたら、**END** を押し、確認画面の **ENTER** または **CANCEL** を押します。
- ・ **ENTER** では図10の画面にもどり、画面には登録した任意名称が表示されます。
(**CANCEL** ではキーボード画面にもどります。)
- 6) **END** を押すと、前画面にもどります。

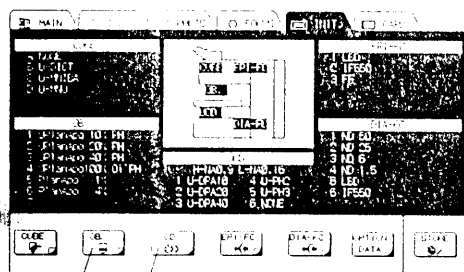


図 12

2 対物データの設定(OB.)

(図12, 13, 14)

- 1) INIT. 設定画面の **OB.** ①(図12)を押すと図13の対物レンズ設定画面となります。

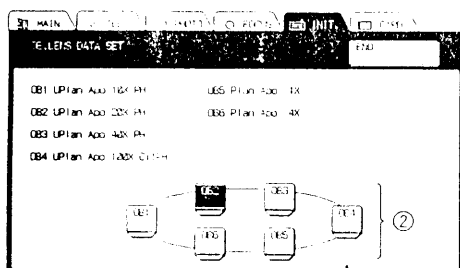


図 13

- 2) 設定する対物レンズNo. ②を押すと、図14の画面となり、レボルバが回転し、指定されたレボルバ位置の対物レンズが光路に入ります。

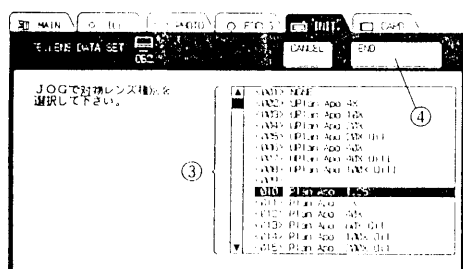


図 14

- 3) 光路に入った対物レンズ名 ③をJOGダイヤルを回して選択します。
 4) **END** ④を押すと、1つ目の対物レンズ名が設定され前画面にもどります。
 5) つづけて、他の対物レンズもデータ設定します。

3

使
い
方

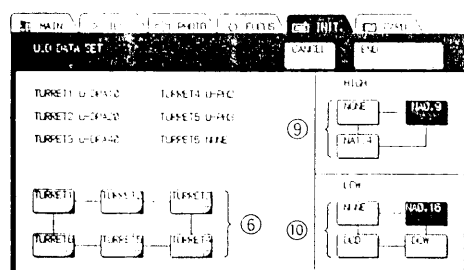


図 15

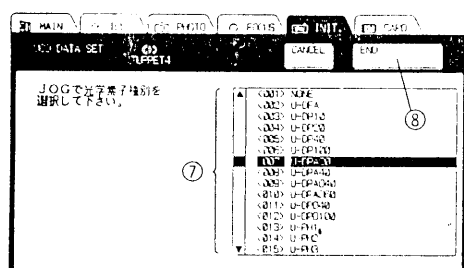


図 16

3 コンデンサデータの設定(UCD) (図15, 16)

- 1) INIT. 設定画面の **UCD** 5(8 頁図12)を押すと、図15のコンデンサデータ設定画面となります。
- 2) 設定するターレットNo. 6を押すと、図16の画面となり、ターレットが回転し、指定ターレットが光学素子挿入口にセットされます。
◎設定時は、ターレットを指定すると光学素子挿入位置にセットされ、観察時の指定では、光軸位置にセットされます。
- 3) 挿入位置の光学素子 7をJOGダイヤルを回して選択します。

- 4) **END** 8を押すと、1つ目の光学素子の設定がされ前画面にもどります。
 - 5) つづけて、他の光学素子もデータ設定します。
 - 6) トップレンズの高倍(HIGH)9と低倍(LOW)10の種類の選択を行います。(図15)
- ★トップレンズの高倍、低倍の使い分けは、コンデンサの取扱説明書をご参照ください。

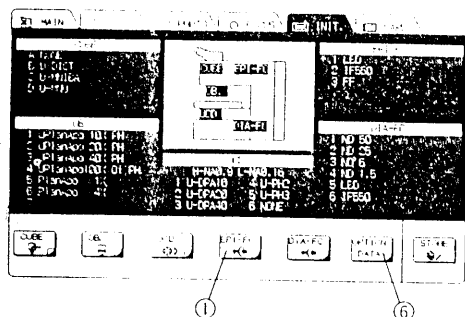


図 17

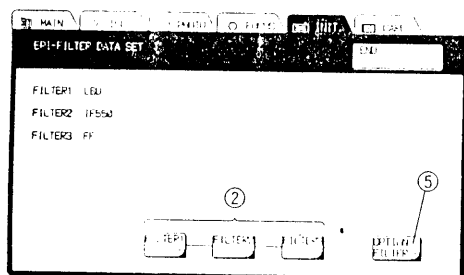


図 18

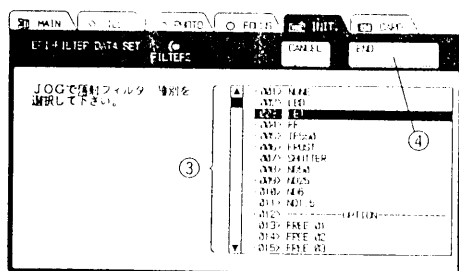


図 19

4 落射フィルタデータの設定(EPI-FC) (図17, 18, 19)

- 1) INIT. 設定画面の **EPI-FC** ①(図17)を押すと、図18の落射フィルタデータ設定画面となります。
- 2) 設定するフィルタ2を押すと、図19の画面となります。実際のフィルタ枠は作動しません。
- 3) 設定するフィルタNo.に装着されているフィルタ名③をJOGダイヤルを回して選択します。
- 4) **END** ④を押すと、1つ目のフィルタ名が設定され前画面にもどります。
- 5) つづけて、他のフィルタもデータ設定します。

オプションフィルタの名称登録

OPTION FILTER ⑤(図18)を押すと、7頁図11のキーボード画面となります。

オプションキューブの名称登録と同様の方法でフィルタ名称を登録します。

入力可能文字数は最大7文字です。

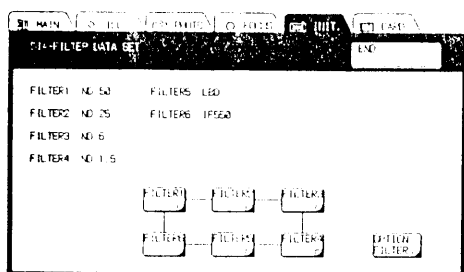


図 20

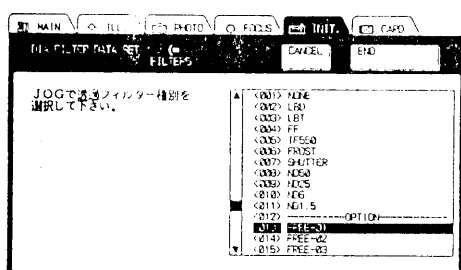


図 21

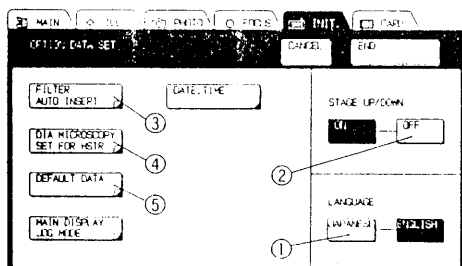


図 22

5

透過フィルタデータの設定(DIA-FC)

(図20,21)

落射フィルタデータの設定と同様方法でデータ設定できます。

(図17,20,21)

★通常は、メーカー設定値で使用してください。

なお、AX80では出荷時、下表のように設定されています。もし、変えてしまった場合は、下表に従って設定してください。

FILTER 1	ND50
// 2	ND25
// 3	ND6
// 4	ND1.5
// 5	LBD
// 6	IF550

6

オプションデータの設定(OPTION DATA)

(図 22)

INIT. 設定画面の **OPTION DATA** ⑥(10頁図17)を押すと、図22のオプションデータ設定画面となります。

メッセージ表示言語切換え

◎メッセージ表示の和文／英文の切換えが行えます。

メーカーの初期設定は英文となっています。

・和文にする場合は、LANGUAGE①の **JAPANESE** を押します。(図22)

ステージ／レボ自動退避動作設定

◎対物レンズ変換時の標本を保護するためにステージ退避動作を設定できます。

メーカーの初期設定は **ON** になっています。

・対物変換のスピードアップを行う場合はSTAGE UP/DOWNの **OFF** ②を押します。(図22)

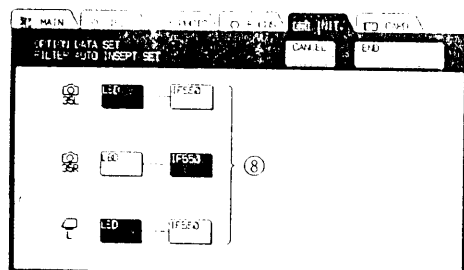


図 23

フィルタ自動挿入組合せ設定

(図 23)

◎カメラ光路にした時に、自動的に挿入されるフィルタ組合せを設定できます。

- 1) **FILTER AUTO INSERT** ③(11頁図22)を押すと図23の組合せ設定画面となります。

★メーカー初期設定値はLBDを挿入する設定になっています。

- 2) 必要なフィルタ⑧を押して設定します。
- 3) **END** を押すと、前画面にもどります。

注 意

カメラ光路状態(ZOOM PHOTO)で、フィルタ組合せを変更しても、モード切換えをすると、ここで設定したフィルタにもどります。

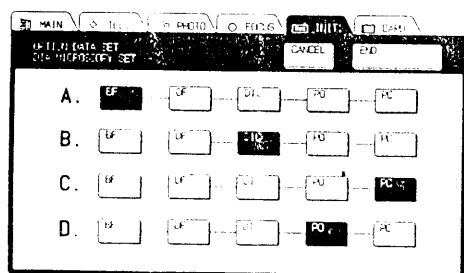


図 24

ハンドスイッチ(U-HSTR)の透過検鏡法設定

(図 24)

◎ハンドスイッチの空キューブ位置のスイッチに割り当てる、透過検鏡法を設定できます。

なお、キューブが設定されている場合は、キューブに対応した検鏡法のスイッチとなります。

- 1) 11頁図22 **DIA MICROSCOPY SET FOR HSTR** ④を押すと、図24の検鏡法の設定画面となります。
- 2) ハンドスイッチ(U-HSTR)の空キューブスイッチ位置(キューブなし)に必要な検鏡法を押して、設定します。
- 3) つづけて他の空キューブスイッチ位置に必要な検鏡法を設定します。
- 4) **END** を押すと、前画面にもどります。

★この設定により、ハンドスイッチのキューブ切換えが、検鏡法切換えとして機能しますので、ハンドスイッチのCUBE文字部分に付属の **MICROSCOPY** のシールを貼付けてください。

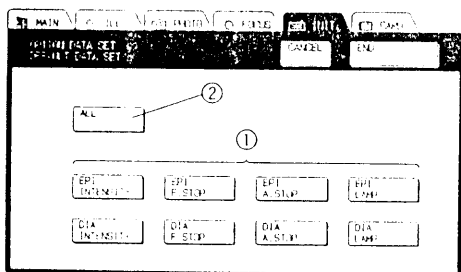


図 25

照明系補正係数の初期値復帰の指定

(図 25)

◎ユーザーが任意に調整した絞り径、明るさなどをキャンセルし、メーカーの初期値へ復帰させます。

- 1) 11頁図22の **DEFAULT DATA** ⑤を押すと、図25の復帰画面となります。
- 2) 各設定値①の復帰が必要なものを押します。
また、すべて初期値に復帰させるには **ALL** ②を押します。
★間違えて押した場合、この画面での解除はできませんので、**CANCEL** を押して、再度この画面を出して、押し直します。
- 3) **END** を押すと、前画面にもどります。

■ DEFAULT DATA(デフォルトデータ)一覧

項 目	検鏡法	BF	DF	DIC	PC	PO	FL
透 過	FS(DIA F.STOP)	120%	開放	120%	120%	120%	
	AS(DIA A.STOP)	80%	開放	80%	開放	80%	
	ND(DIA INTENSITY)	± 0 注)					
	LAMP(DIA LAMP)	9.0V	9.0V	9.0V	9.0V	9.0V	
落 射	FS(EPI F.STOP)	100%	開放	100%			100%
	AS(EPI A.STOP)	80%	開放	80%			100%
	ND(EPI INTENSITY)	± 0 注)					
	LAMP(EPI LAMP)	9.0V	9.0V	9.0V			9.0V

注) U-MCBで算出するINTENSITY(ND段数)に対して、明るさ調整を行わない状態、また、検鏡法、対物レンズの組合わせで、最適な明るさがNDフィルタの調整範囲を超えてしまう場合は、マイナス(－)表示することがあります。

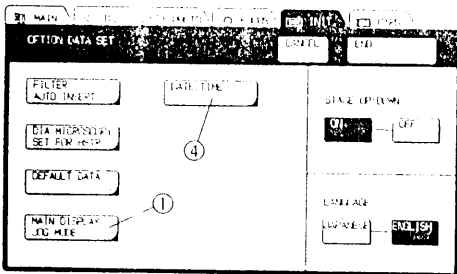


図 26

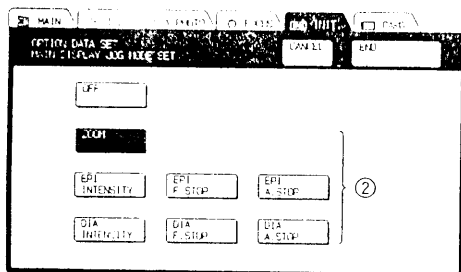


図 27

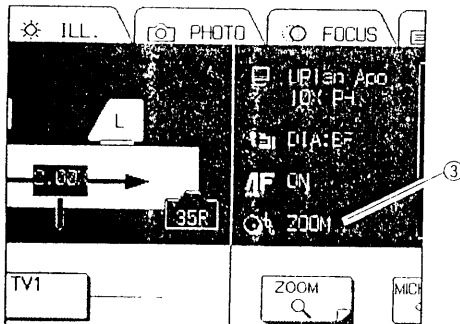


図 28

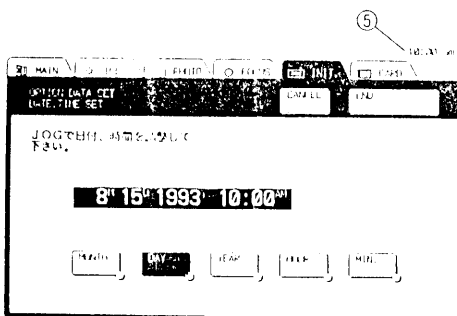


図 29

メイン操作画面JOG割り当て設定

(図26, 27, 28)

◎MAIN画面の時に、JOG操作できる項目を選択できます。

- 1) **MAIN DISPLAY JOG MODE** (1) (図26)を押すと、図27の選択画面となります。

- 2) メーカーの初期設定は倍率変換の **ZOOM** となっていますが、必要な項目(2)を押します。(図27)

表示はMAIN画面の3の所に設定されたものが表示されます。

(図28)

- 3) **END** を押すと、前画面にもどります。

日付・時間の調整

(図 29)

◎時刻、日付を合わせられます。

- 1) **DATE TIME** (4) (図26)を押すと、図29の設定画面となります。
- 2) 月、日、年、時、分をそれぞれ押して、JOGダイヤルで順番に設定していきます。
★月の表示は和文の場合 1～12、英文の場合 Jan～Dec となります。
- 3) **END** を押した時点で、設定は更新され時計表示も変わります。(図29)

なお、この画面のみINIT. 画面の **STORE** を押さなくてもシステムに反映します。

3-3 基本(MAIN)操作画面と設定

★関連モジュールが取付いていない部分の操作表示は表示しません。

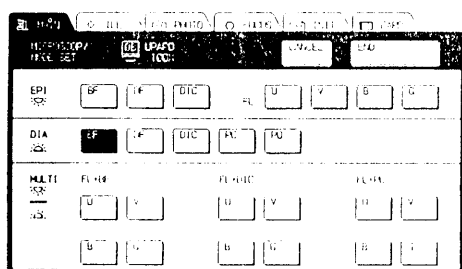
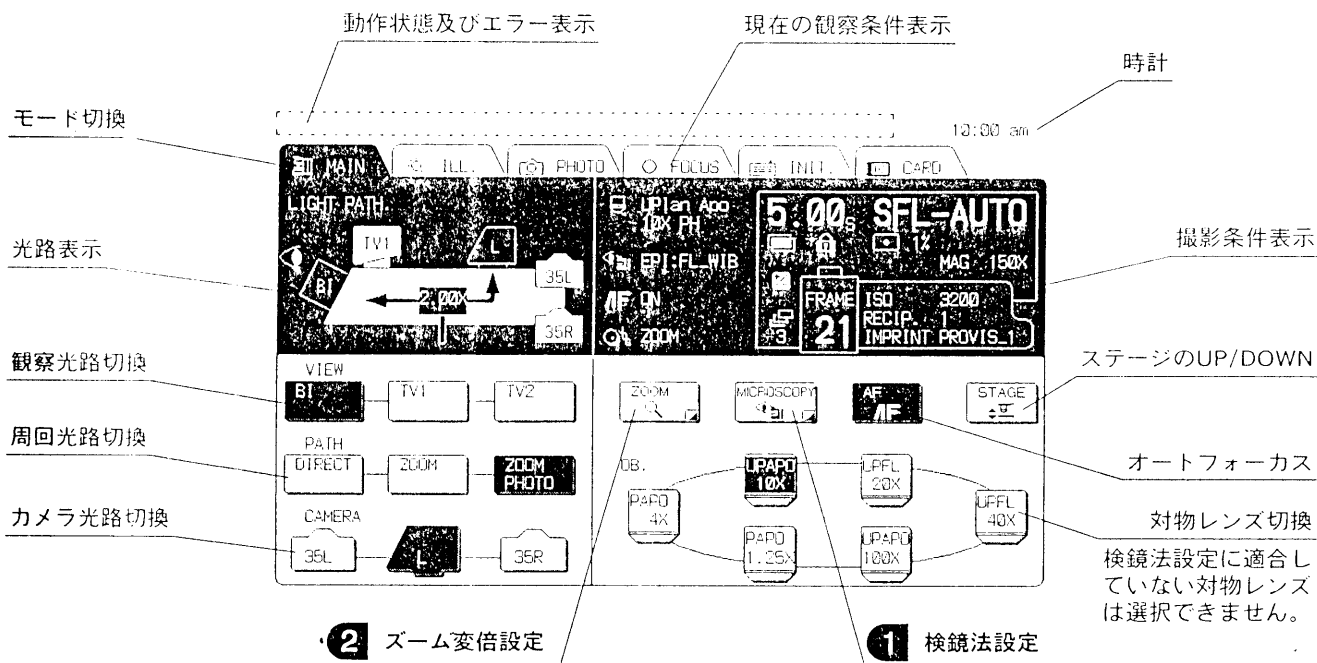


図 30

1 検鏡法設定(MICROSCOPY) (図 30)

- 1) **[MICROSCOPY]** を押すと、図30の検鏡法設定の画面となります。
- 2) 設定したいスイッチを押すと、設定した検鏡法に、切り替わります。また対物レンズが検鏡法に適合していない場合は、適合対物レンズに切替えます。

★INIT. 画面にて、初期設定されていないと画面の表示がない場合があります。

- 3) **[END]** を押すと、前画面にもどります。

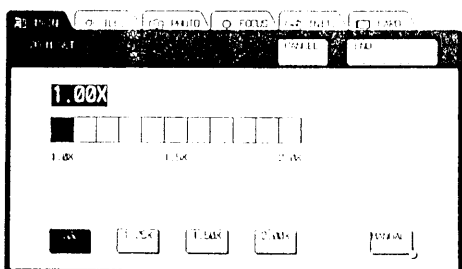


図 31

2 ズーム変倍設定(ZOOM) (図31,32)

- 1) **[ZOOM]** を押すと、図31のズーム変倍設定の画面となります。
- 2) 次頁の3通りの設定ができます。

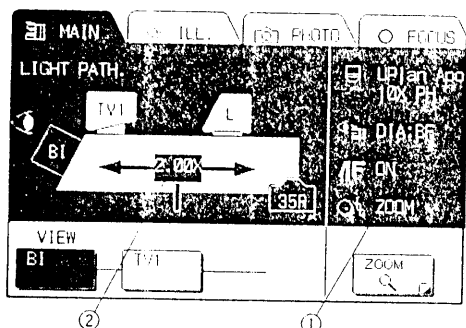


図 32

- ・固定倍率 1×、1.25×、1.5×、2×のいずれかが設定できます。
- ・[MANUAL] を押し、JOGダイヤルにて 1×～2×のズーム倍率が設定できます。
- ・INIT. 画面にて“メイン操作画面JOG割り当て設定”で [ZOOM] (1) を選択していれば、ZOOM変倍設定画面を表示せずに、MAIN画面 (2) (ZOOM 表示されている) のままで、JOGダイヤルにて、必要倍率 2 が設定できます。(図32)

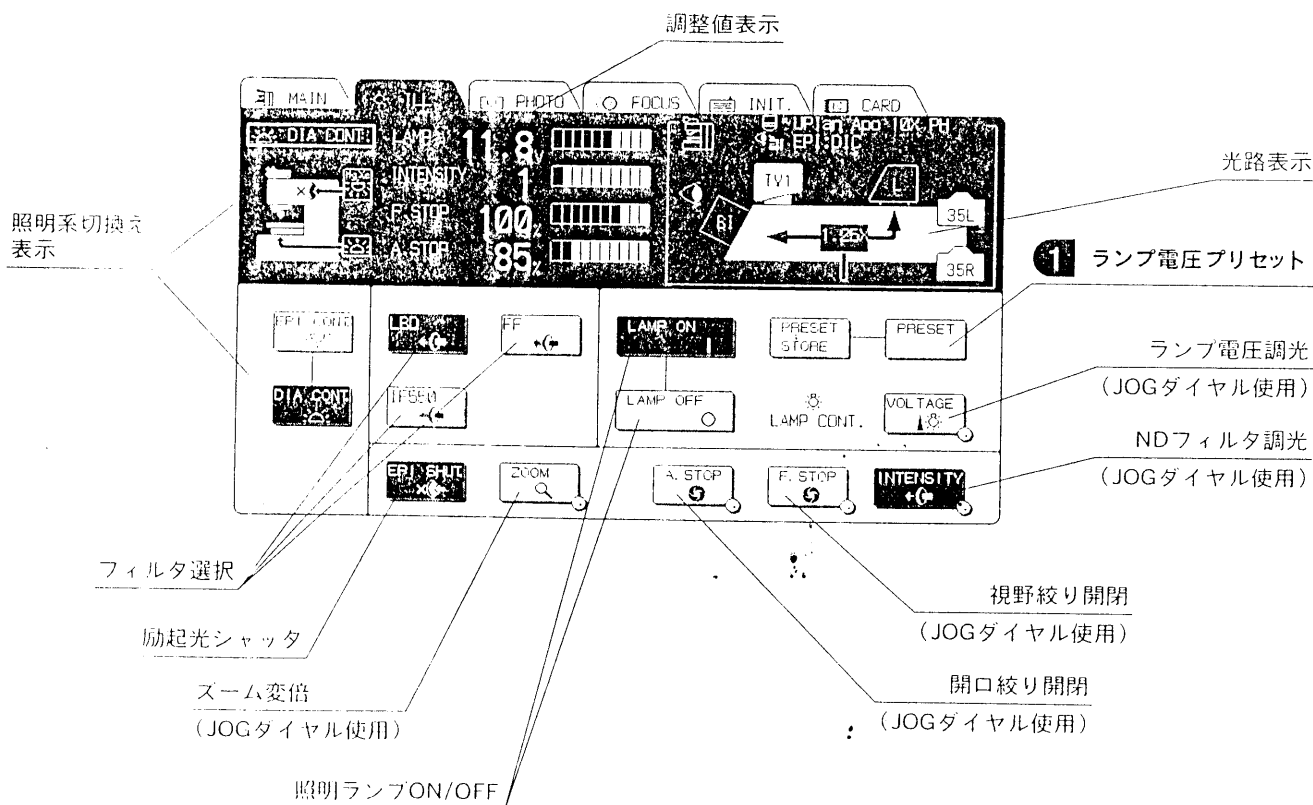
3

使
い
方

3-4 照明系(ILL.)操作画面

★関連モジュールが取付いていない部分の操作表示は表示しません。

◎透過検鏡時は透過のコントロール、落射の時は落射のコントロールができます。開口絞り、視野絞り、NDフィルタ、ランプ電圧は検鏡に適した最適値に自動設定されます。



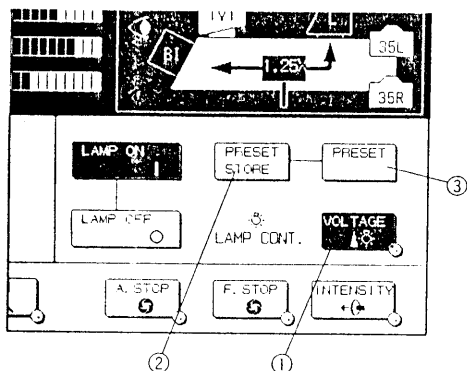


図 33

1 ランプ電圧プリセット

(図 33)

プリセット値記憶

- 1) **VOLTAGE** ①を押し、JOGダイヤルで必要なランプ電圧値にします。
- 2) **PRESET STORE** ②を押して記憶させます。
- 3) 確認画面が出てきますので、OKなら **ENTER** を押します。間違えたら **CANCEL** を押して、やり直します。

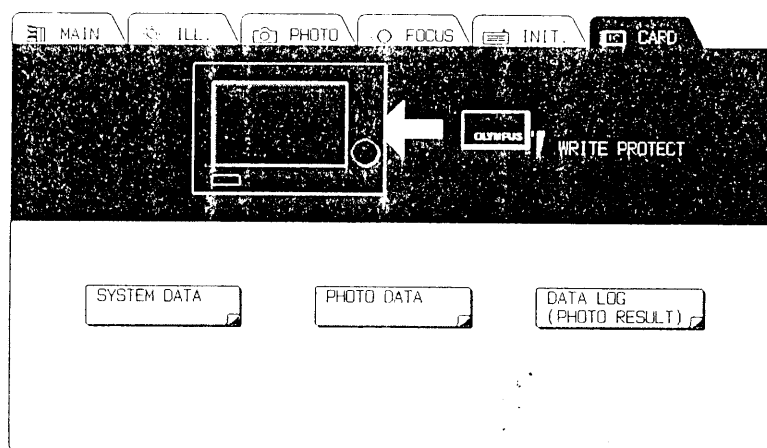
プリセット値呼出し

- ・ **PRESET** ③を押すと、記憶されているランプ電圧に設定します。
- ・ もう一度 **PRESET** ③を押すと、解除されます。

★検鏡法を切換えると、プリセット状態は自動的に解除されます。

3-5 メモリーカード(CARD)の設定

★メモリーカードがない場合は、操作できません。



登録可能データ数

メモリー項目	データ数
SYSTEM DATA	5
PHOTO DATA	100
DATA LOG	300

1 メモリー項目の選択

下記の3項目のメモリー登録が可能ですので、CARD画面より選択します。

- ・ SYSTEM DATA : 動作条件(含むシステム環境データ)の設定
- ・ PHOTO DATA (AX) : 写真撮影条件
- ・ DATA LOG : 写真撮影結果 (PHOTO RESULT)

■ SYSTEM DATA(システムデータ)メモリー内容

タイトル	内 容
TITLE	登録データ名
DATE	登録日時
QB.*	環境データ
CUBE*	対物レンズ設定データ
UCD_TOP*	キューブ設定データ
UCD_OPT*	コンデンサ設定データ
DIA_FLT*	透過フィルタ設定データ
EPI_FLT*	落射フィルタ設定データ
35L_FLT*	オプション設定データ
35R_FLT*	フィルタ自動挿入組合わせ
L_FLT*	35mmL
DIA_PRI*	35mmR
LANGUAGE	L版
DFLT_JOG	HSTRの透過検鏡法設定
OB._PRTCT	表示言語(日本語/英語)
OBSER.	メイン画面JOGモード
OB.	ステージ退避動作(ON/OFF)
PATH	状態データ
ZOOM	検鏡法状態 (含CUBE, UCD状態)
DIA_AS	対物レンズ状態 (含CUBE, UCD状態)
DIA_FS	観察光路状態(VIEW, PATH, CAMERA)
DIA_ND	ズーム倍率
EPI_AS	透過AS径
EPI_FS	透過FS径
EPI_ND	透過ND設定
DIA_LAMP	落射AS径
DIA_FIX	落射FS径
EPI_LAMP	落射ND設定
EPI_FIX	透過ランプ設定
DIA_SHUT	設定ランプ電圧
EPI_SHUT	プリセットランプ電圧
DIA_FLT*	落射ランプ設定
EPI_FLT*	設定ランプ電圧
AF_MODE	プリセットランプ電圧
AF_ZONE	照明光シャッタ状態
MF_MODE	透過
BRIGHT.F	落射
BRT_COL.	補正フィルタ状態
BRT_DEN.	透過
SPOT	落射
DATA LOG	AF状態
	動作状態=OFF
	(ON状態でストア操作してもOFFとなる)
	AFモード(1 SHOT/REAL TIME)
	AF範囲
	マニュアルフォーカススピード
	AFリミット位置・
	センタ位置
	ステージ退避状態
	は記憶されません
	写真撮影条件35L
	写真撮影条件35R
	写真撮影条件L版
	写真撮影条件を参照
	ブライトフレーム状態
	点灯状態(ON/OFF)
	色
	輝度
	スポット輝度(測光範囲表示LEDの輝度)
	撮影結果記憶設定状態(ON/OFF)
	(DATA LOG)

★制限条件

呼出しデータの検鏡法が再現できない場合には、■の項目は無効(呼出しできない)となります。

■ PHOTO DATA(写真撮影条件)メモリー内容

タイトル	内 容										
TITLE DATE OBSER. OB. ZOOM	登録データ名 登録日時 登録時検鏡法 登録時対物レンズ 登録時ズーム倍率										
ISO RECIPRO EXP_ADJ EXP_MODE AE_MODE MANUAL SPOT AUTO_BR IMPRINT IMP_DAT1 IMP_DAT2 IMP_DAT3 IMP_DEN.	登録のみ(呼出しはできません) ◎各カメラに対応して以下の項目が記憶されます。 ISO感度 フィルム特性値 露出補正值 露出モード(オート/マニュアル、通常/多重露出/オートブラケット) オート測光方式 マニュアル露出時間 測光範囲(スポット径) オートブラケット設定値 データ写し込み <table border="0"> <tr> <td>— 写し込み項目(含ON/OFF設定)</td><td></td></tr> <tr> <td>— 任意データ1内容(含オートカウントアップ状態)</td><td></td></tr> <tr> <td>— 任意データ2内容(</td><td>〃</td></tr> <tr> <td>— 任意データ3内容(</td><td>〃</td></tr> <tr> <td>— 写し込み濃度</td><td></td></tr> </table>	— 写し込み項目(含ON/OFF設定)		— 任意データ1内容(含オートカウントアップ状態)		— 任意データ2内容(	〃	— 任意データ3内容(	〃	— 写し込み濃度	
— 写し込み項目(含ON/OFF設定)											
— 任意データ1内容(含オートカウントアップ状態)											
— 任意データ2内容(	〃										
— 任意データ3内容(	〃										
— 写し込み濃度											

注) ・AE LOCK状態
・フィルムカウンタ
・予想露出時間
・前回露出時間

は記憶されません。

■ DATA LOG(撮影結果記憶)内容

タイトル	内 容
TITLE	登録データ名 (任意設定できませんので撮影日時、撮影カメラがデータ名となります。)
CAMERA	撮影カメラ(35mmL/35mmR/L版)
FRAME	フィルムカウンタ
IMPRINT	写し込みデータ
EXP_TIME	露出時間
OBSER.	検鏡法
OB.	対物レンズ
ZOOM	ズーム倍率
ISO	ISO感度
RECIPRO	フィルム特性値
EXP_MODE	露出モード
AE_LOCK	AE LOCK状態
AE_MODE	オート測光方式
SPOT	測光範囲(スポット径)
EXP_ADJ	露出補正值
AUTO_BR	オートブラケット状態

オート測光時のみ記憶

オートブラケット撮影時のみ記憶

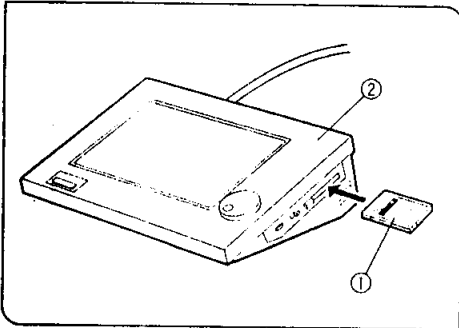


図 34

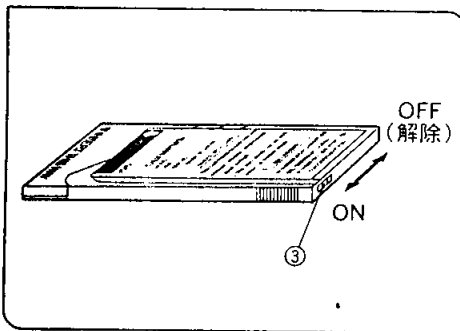


図 35

2 メモリーカードについて

(図34, 35)

・メモリーカード①の挿脱は、必ずU-MCB②のサブメインスイッチがOFFの状態で行ってください。(図34)

★メインスイッチONでは、データを破壊するおそれがあります。

◎すでにデータが入っているメモリーNo.を選択すると前のデータは消滅し、新しいメモリーデータが上書きされます。

★通常はライトプロテクト③をONにして、不用意に登録・消去されることを防止することをお勧めします。(図35)

★停電や磁石などによってメモリー内容が消滅することがありますので、ご注意ください。

★本装置には、必ずオリンパス製のAX用メモリーカード(CMEM 64)をご使用ください。

3 メモリーデータ自動呼出しについて

1) メモリーカードを挿入して電源をONにすると、SYSTEM DATA No. <001>に記憶されているデータが自動的に呼び出されます。これにより、電源ON時常に規定の状態ですystemを立上げることができます。

但し、以下の条件では呼び出しできません。

・呼び出し内容の環境データとU-MCB内(顕微鏡)の環境データが不一致の場合

(対物レンズやキューブの種別データが違う場合)

・呼び出し内容の中に未登録のアドオンオートがある場合

2) 自動呼出しを避け、前回OFF時のデータを再現したい場合は、SYSTEM DATA No. <001>には、何も登録しないで使用してください。

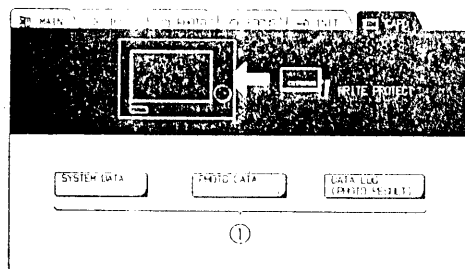


図 36

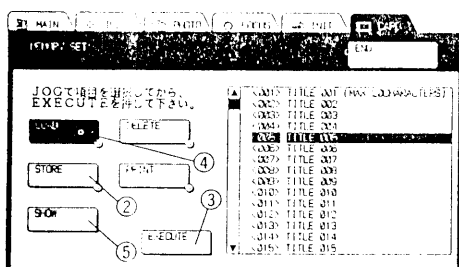


図 37

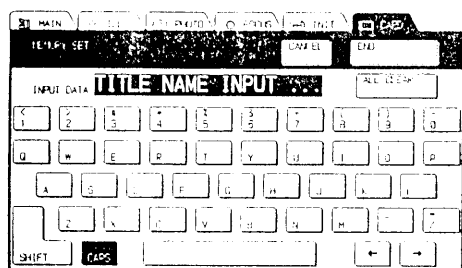


図 38

4 メモリー操作

(図36, 37, 38)

登録

1) メモリー項目 1 (図36)を押すと、図37の画面となります。

2) **[STORE]** ② を押し、JOGダイアルで登録したいメモリーNo. を選択します。

◎JOGダイアルを先に回してもOKです。

3) **[EXECUTE]** ③ を押し、図38のキーボード画面となります。

4) タイトル名称を1文字ずつ押して、入力していきます。入力可能文字数は最大20文字です。

キーの説明 は、7頁の「オプションキューブの名称登録」の項をご参照ください。

5) 名称が入力できたら、**[END]** を押しと確認画面が出てきます。OKなら **[ENTER]** を押します。

間違っていたら **[CANCEL]** を押して、やり直します。

6) **[END]** を押しと、前画面にもどります。

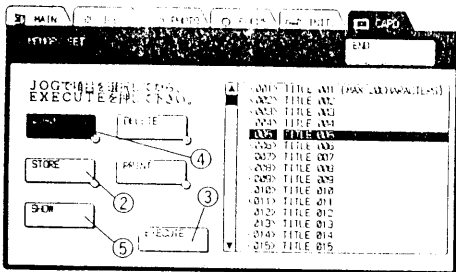


図 39

呼出し (図 39)

- 1) メモリー項目 1 (21頁図36)を押すと、図39の画面となります。
- 2) **LOAD** ④ を押し、JOGダイヤルで呼出したいメモリーNo.を選択します。

◎JOGダイヤルを先に回してもOKです。

- 3) **EXECUTE** ③ を押し、カーソル位置のデータが呼出されます。
- 4) **END** を押し、前画面にもどります。

《制限条件》

- ・ DATA LOG(撮影結果記憶)の呼び出しは、できません。
 - ・ 写真撮影鏡筒(U-PHOTO,AX80)がない場合はPHOTO DATA(写真撮影条件)の呼び出しはできません。
 - ・ 電動ユニバーサルコンデンサ(AX-UCDM)がない場合は、透過検鏡法の呼び出しは無効となります。
- 呼び出しデータの中に未登録のアドオンオートがある場合は、呼び出しできません。(全項目)

確認 (図 39)

- 1) メモリー項目を押すと図39の画面となります。
- 2) JOGダイヤルで確認したい(表示したい)メモリーNo.に合わせます。
- 3) **SHOW** ⑤ を押し、メモリーNo.の画面が、カーソル位置の詳細表示を行います。また、この時JOGダイヤルを回すと詳細表示はスクロール可能です。
- 4) **SHOW** を押し、前画面にもどります。
- 5) **END** を押し、元の画面にもどります。

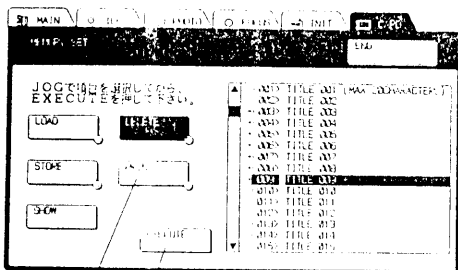


図 40

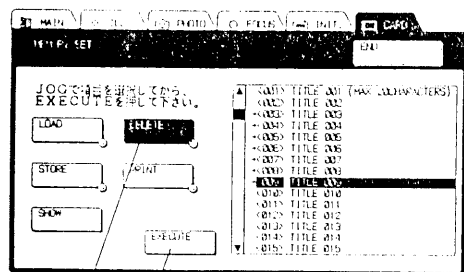
プリント (図 40)

★ **PRINT** はプリンタI/Fボードが取付いていないと受け付けません。

- 1) メモリー項目①(21頁図36)を押すと、図40の画面となります。
- 2) JOGダイヤルにて、プリントする範囲の先頭位置に合わせます。
- 3) **PRINT** ⑥ を押し、プリントの先頭が決まります。
- 4) JOGダイヤルにて、最終項目を指定します。

◎範囲が決定した項目は項目番号の頭に“→”表示がされます。

- 5) 範囲が決定したら、**EXECUTE** ③ を押し、確認画面ができますので、OKなら **ENTER** を押し、間違っていたら **CANCEL** を押します。
- 6) **ENTER** でプリントが行われ、前画面もどります。



⑦ ③ 図 41

消去

(図 41)

- 1) メモリー項目 1 (21 頁図 36) を押すと、図 41 の画面となります。
- 2) JOG ダイヤルにて、消去する範囲の先頭位置に合わせます。
- 3) **[DELETE]** ② を押すと、消去の先頭が決まります。
- 4) JOG ダイヤルにて、最終項目を指定します。
◎ 範囲が決定した項目は項目番号の頭に “→” 表示がされます。
- 5) 範囲が決定したら、**[EXECUTE]** ③ を押すと、確認画面ができますので、OK なら **[ENTER]** を押し、間違っていたら **[CANCEL]** を押します。
- 6) **[ENTER]** で消去が行われ、前画面もどります。

プリンタ出力

本装置指定のプリンタに接続ケーブルをつなぐことにより、メモリーカードの内容を出力することができます。
接続方法、操作方法については別冊の取扱説明書をご参照ください。

4 外部通信機能

◎本装置は、オプションのRS232Cボード(U-IFRS)または、GPIBボード(U-IFGP)を後面の外部I/F取付ストロットに挿入するだけで、パーソナルコンピュータなどへの外部通信が行えます。

これにより、マルチコントロールボックスで制御できるユニットすべてをパソコンなどで外部制御することが可能となります。

接続、操作方法は、それぞれのボードの取扱説明書をご参照ください。

なお、外部通信機能を使用する場合、プリンタ機能が使用できなくなります。

OLYMPUS®

オリンパス光学工業株式会社

〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷2-43-2

販売元/オリンパス販売株式会社

支店・営業所所在地

東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4	龍名館ビル	☎03(3251)8971
札幌	〒060 札幌市中央区北三条西4丁目	日本生命札幌ビル	☎011(222)2551
盛岡	〒020-01 盛岡市安倍館町18-24	キャステール安倍館	☎0196(47)4670
仙台	〒980 仙台市青葉区1番町1-3-1	日本生命仙台ビル	☎022(223)7821
つくば	〒305 つくば市梅園2-7-3	つくばシティービル	☎0298(58)2963
大宮	〒331 大宮市桜木町1-7-5	ソニックシティビル	☎048(644)8122
横浜	〒220 横浜市西区北幸1-7-2	横浜駅西口ビル	☎045(311)2028
静岡	〒420 静岡市追手町1-6	日本生命静岡ビル	☎054(255)6245
新潟	〒950 新潟市東大通り1-2-23	北陸ビル	☎025(245)7339
松本	〒390 松本市深志1-2-11	松本昭和ビル	☎0263(36)5333
金沢	〒920 金沢市香林坊1-2-24	千代田生命金沢ビル	☎0762(22)3434
名古屋	〒460 名古屋市中区錦2-19-25	日本生命広小路ビル	☎052(201)9601
大阪	〒542 大阪市中央区南船場2-12-26	オリンパス大阪センター	☎06(252)6695
京都	〒604 京都市中京区烏丸御池下ル虎屋町566-1	リクルート明治生命ビル	☎075(255)2316
神戸	〒650 神戸市中央区京町7-1	山本ビル	☎078(331)3377
高松	〒760 高松市天神前10-5	高松セントラルスカイビル	☎0878(33)0670
松山	〒790 松山市三番町7丁目1-21	協栄生命松山ビル	☎0899(31)5543
岡山	〒700 岡山市表町1-5	岡山シンフォニービル9F	☎086(233)0366
広島	〒730 広島市中区八丁堀16-11	日本生命広島第2ビル	☎082(228)1921
福岡	〒810 福岡市中央区天神1-14-1	日本生命福岡ビル	☎092(711)1881
南九州	〒892 鹿児島市加治屋町12-7	日本生命加治屋町ビル	☎0992(24)7820

取扱販売店名

住 所	
店 名	
担当者	